【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年8月10日(2023.8.10)

【公開番号】特開2022-118139(P2022-118139A)
【公開日】令和4年8月12日(2022.8.12)
【年通号数】公開公報(特許)2022-147
【出願番号】特願2022-99400(P2022-99400)
【国際特許分類】
Ａ６２Ｃ 37/11(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６２Ｃ 37/11

【手続補正書】
【提出日】令和5年8月2日(2023.8.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
消火スプリンクラーのための偏向器であって、前記偏向器は、
中心を囲繞する周辺を有する円形プレートと、
前記周辺上の正反対の点から共通直径に沿って前記中心に向かって延在する、前記プレート内の第１および第２のスロットと、
前記第１のスロットと前記第２のスロットとの間に前記プレートの周辺に位置付けられた第１の複数のスロットであって、前記第１の複数のスロットのうちの前記スロットのそれぞれは、前記周辺から前記円形プレートの個別の非直径弦に沿って延在し、前記第１の複数のスロットのうちの前記スロットのそれぞれは、それに沿って前記第１の複数のスロットのうちの前記スロットのそれぞれが延在する、前記円形プレートの前記個別の弦に対して非対称である、第１の複数のスロットと、
前記プレートの周辺に位置付けられた第２の複数のスロットであって、前記第２の複数のスロットのうちの各スロットは、前記第１のスロットと前記第２のスロットとの間に位置付けられ、前記周辺から前記円形プレートの個別の半径に沿って前記中心に向かって延在する、第２の複数のスロットと
を備え、
前記第１および第２のスロットは、個別の第１および第２の面積を画定し、前記第１および前記第２の面積はそれぞれ、前記第１および第２の複数のスロットの任意のスロットによって画定される任意の面積を上回り、
前記第１および第２のスロットは、前記中心から第１の距離において個別の端部を有し、
前記第１の複数のスロットの第１の半分は、前記中心から第２の距離において個別の端部を有し、
前記第１の複数のスロットの第２の半分は、前記中心から第３の距離において個別の端部を有し、
前記第２の複数のスロットは、前記中心から第４の距離において個別の端部を有し、
前記第１の距離は、前記第２の距離未満であり、前記第２の距離は、前記第３の距離未満であり、前記第３の距離は、前記第４の距離未満である、偏向器。
【請求項２】
前記周辺は、第１の領域および第２の領域を備え、前記第１の領域は、前記第１のスロ

ットに隣接し、前記第２の領域は、前記第２のスロットに隣接し、前記第１の領域および前記第２の領域はそれぞれ、前記周辺のうちの残りの半径未満である半径を有する、請求項１に記載の偏向器。

【請求項３】

前記第２の複数のスロットのうちの前記スロットの前記それぞれは、それに沿って前記第２の複数のスロットのうちの前記スロットのそれぞれが延在する、前記円形プレートの前記個別の半径に対して対称である、請求項１に記載の偏向器。

【請求項４】

前記第１および第２のスロットのそれぞれは、前記周辺に近接する第１の領域にわたる第１の幅と、前記第１の領域と前記中心との間に位置付けられた第２の領域にわたる第２の幅とを有し、前記第１の幅は、前記第２の幅未満である、請求項１に記載の偏向器。